

情報連絡員報告総括表(令和元年5月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	1	2	1		3	1	2	2		1	3		1		3	1	1	2	1	2	1	1	3		1	1	2
	繊維工業		1	2		3			3			2	1		2	1		2	1		3			3			1	2
	木材・木製品			1	1				1				1		1			1				1		1				1
	紙・紙加工品		1	1	1	1			2				2			2		2			2			2			1	1
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1	
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品		2	1		3			3			3			2	1		3			2	1		3			2	1
	鉄鋼・金属			1			1		1			1			1			1				1		1				1
	一般機器		3		1	2			2	1		2	1		1	2		3			3			1	2		2	1
	電気機器			1		1			1			1			1			1				1		1			1	
	輸送機器			1			1		1			1			1			1				1		1			1	
その他																												
小計	1	10	9	3	14	3	2	17	1	1	14	5	1	10	9	1	16	3	1	13	6	1	17	2	1	10	9	
非製造業	卸売業		1	1		2		1	1			2			1	1		2		X		2			1	1		
	小売業	5	1		1	4	1	1	4	1		5	1		4	2		4	2			5	1		4	2		
	商店街	1				1		1				1			1			1				1			1			
	サービス業	2	3		X			1	4			5			3	2		3	2			1	4		4	1		
	建設業	2	2						3	1		4			3	1		3	1				4		4			
	運輸業	1							1			1			1			1					1			1		
	その他	1							1			1			1			1					1		1			
小計		13	7	1	7	1	4	14	2		19	1		14	6		15	5		1	18	1		15	5			
合計	1	23	16	4	21	4	6	31	3	1	33	6	1	24	15	1	31	8	1	13	6	2	35	3	1	25	14	

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年5月～令和元年5月)

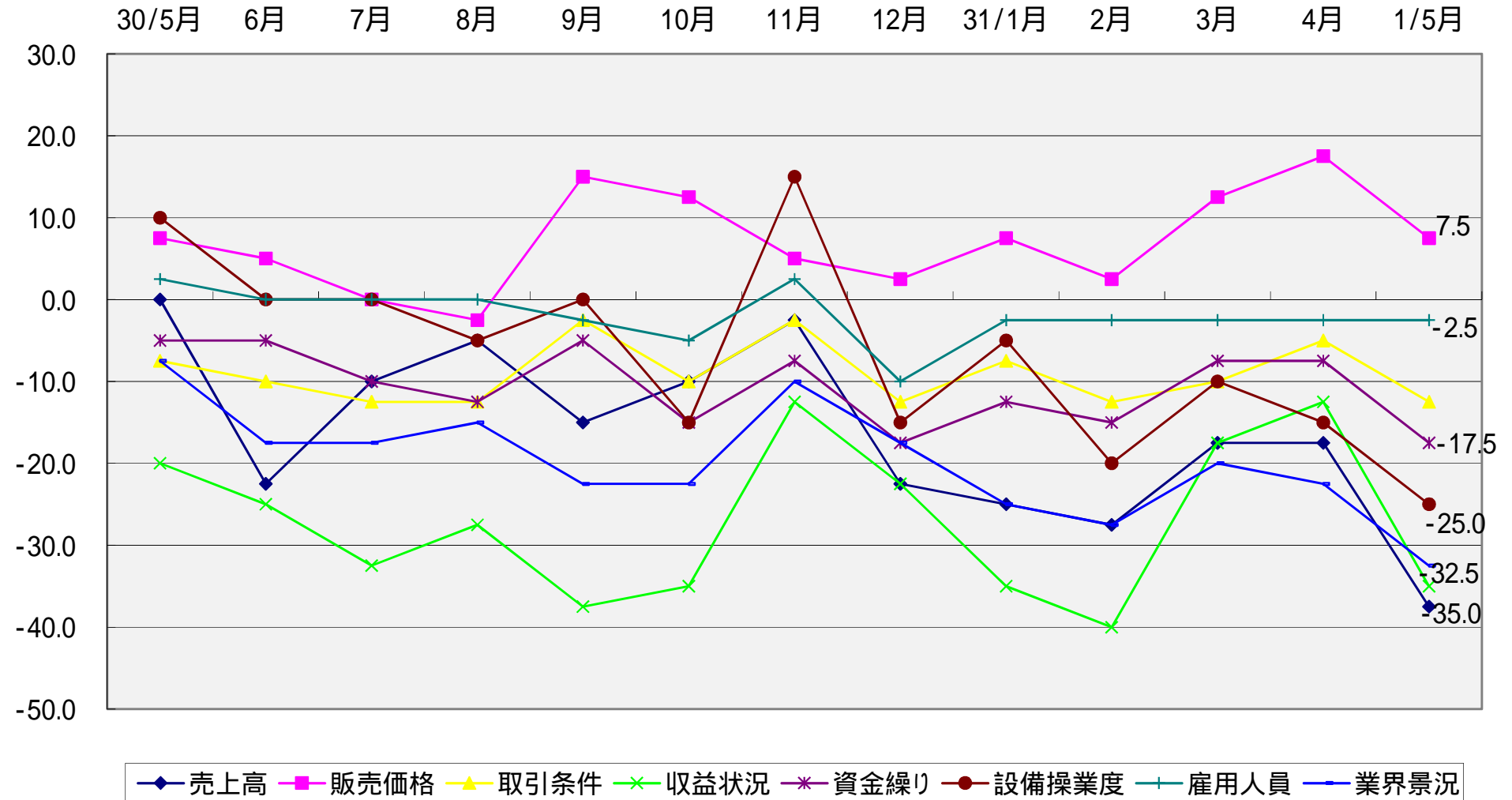
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	30/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	2月	3月	4月	1/5月	増減
売上高	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-20.0
販売価格	7.5	5.0	0.0	-2.5	15.0	12.5	5.0	2.5	7.5	2.5	12.5	17.5	7.5	-10.0
取引条件	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-7.5
収益状況	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-22.5
資金繰り	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-5.0	-15.0	-7.5	-17.5	-12.5	-15.0	-7.5	-7.5	-17.5	-10.0
設備操業度	10.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	-15.0	15.0	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-25.0	-10.0
雇用人員	2.5	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	2.5	-10.0	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	漬物	原料となる野菜の生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。今年4月から5月にかけての高温、乾燥により、夏野菜の発芽、生育不良が発生し、原料供給への影響が心配されている。また、5月29日に津市において三重県漬物協同組合の令和元年度第47回通常総会を開催し全議案が承認された。5月30日には東京で全国漬物協同組合連合会の総会が開催された。6月7日には名古屋で中部漬物協会の総会を予定している。
		醤油味噌	ゴールデンウィークの10連休の影響で4月の出荷が多く、その分5月は落ち込んだところが多いと思う。2ヶ月平均では前年並みである。
		豆腐	例年に比べ、気温が高く冷却設備の電気代が高くなり、その分収益が圧迫された。
		製麺	年々暑さが厳しく、商品の春物商品から一気に夏物商品に変わり、対応に追われている。ゴールデンウィークは伊勢神宮に多数の参拝者があり賑わった。値上げの問題に直面して、いち早く対処していくことが今後の課題である。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	10連休のため、稼働日が少なく生産量の減少が心配されたが、最終的には例年並みの数量を確保できた。ただ、原材料の値上げの分が、ユーザーに転嫁できず収益面では苦戦している。
		古紙	5月の取り扱い重量は、前年比：段ボール約97±6%、新聞、チラシ約92±7%、雑誌、雑紙、その他・合わせて約95±9%の模様。中国の廃棄物輸入規制と米中貿易摩擦による景気減退等とGW合わせた国内製紙メーカーの定期修理等が重なり、組合員の古紙在庫が多い。また新聞用紙から段ボール等の板紙への製紙マシン改造のニュースが複数社から出ている。古紙の入荷にも変化があり増加傾向にある。原因ははっきり掴めないが、家庭内や企業の片づけの古紙が売りにくくなり組合員の回収ルートに戻ってきたのかも知れない。しかしながら未だに古紙の持ち去りも無くならない。社員・従業員不足と高齢化も解決が難しい。
	印刷	印刷	通常総会が開催された。今年度も組合員数増減なく64社。組合として福利厚生事業や県民手帳事業等を行なっているが残念ながら新規拡大にはつながっていない。また、青年部では今年もその県民手帳入札のための企画書会議が連日行なわれた。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館の運営については、昨年と比べ入館者数は微増ではあるものの売上げについてはほぼ同じ状況で低調である。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は4月同様全体的には減少ぎみであった。自動車関連部品は自動車メーカーにより増加した物、減少した物とに分かれた。また産業機械関連部品、半導体関連部品は長引く米中貿易戦争の影響を受け、減少傾向が続く。しかしながら、半導体業界でもやや増加に転じたところもあり、動向を見守っているような状況である。
	一般機器	四日市	米中の経済戦争、対米関税交渉等、日本にとって厳しい環境である。加えて人手不足、事業継承の問題もある。そうした中で当組合員は自助努力を続けている。
		津市	例年5月はゴールデンウィーク休みがあるので、売上は他の月と比べると低調ではあるが、昨年と比べても特に変わらない状況であった。ゴールデンウィークで遅れているものについては挽回したい所ではあったが、材料メーカーや納品先も休みのため、何もできず他の企業と休みを合わせるしかなかった。
		伊勢	東京、大阪等の都市部では少し悪くなったとの話もあるが、組合員では前月と同じである。
	電気機器	鳥羽	5月に入って受発注はまだ足踏み状態。やはりグローバルな情報が影響しているのか。6月、7月の挽回を願う。
	輸送機器	鈴鹿	人手不足と経営者の高齢化に伴い、設備の点検・修理を依頼していた業者が廃業したため代替業者を探すのに苦労している。大手設備メーカーなら対応してもらえるが、融通が利かず対応も遅く、価格も倍以上になってしまう。量産加工の分野でも人手に頼る工程では熟練の技術者が減っており、ものづくり業界にとって技術の継承は火急の問題である。
小売業	青果	野菜前半：トマトは豊作で例年より2割程安い。ミニトマトも出荷がピークで味もよとお値打ち。新玉葱、ナスは入荷が増え値下がり。鳥取・高知からのラッキョウの入荷が始まる。野菜後半：ラッキョウは鳥取産・高知産が順調に入荷、価格も平年並み。梅も五ヶ所の小梅が順調に入荷。大梅は和歌山産品種古城の入荷が始まり、果菜類のトマト、胡瓜、ナスはお買い得。人参も徳島産・岐阜産の出荷が増えて値下がり。果物前半：山形産ハウスサクランボ、愛知のハウスみかんが順調に入荷、価格も平年並み。熊本産西瓜、メロン類も入荷が増え価格も下がっている。果物後半：愛知産ハウスみかん、鳥根のデラウエアの味も良く、これから増えてくる。山形産ハウスサクランボは値下がりしている。県内産甘夏は味良くお値打ち。	
	自転車	業界特有の春需要が過ぎ、全体的に静かな季節に入ってきた感じがある。前年同月に比べれば、点検整備の売上は若干増えてきているようだ。自転車の売上については言えば、台数的には減少傾向にあるものの価格の比較的高い電動アシスト自転車の売上台数が維持されているため、金額的な売上高は横ばい状態である。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	石油	5月の燃料油販売数量については、暑さの影響によるエアコン稼働において幾分減販が抑えられ、前年対比ガソリン2%前後の減販、特に軽油販売については前年比7%前後の増販であった。5月度の燃料油販売価格については、5月後半より原油価格の下落における販売価格の競争において販売収益の厳しい状況が続いている現状である。
	スポーツ	5月末日にインターハイの予選があり各競技夏の全国大会への出場を手に入れるべく高校生が頑張っていた。その大会に着用するユニフォーム等、緩やかな注文が入ってきて、その対応に精を出した月だった。6月は7月から始まる高校野球の準備でそれなりに忙しい月になると思う。当組合は6月末が決算である。
商店街 サービス業	熊野市	今年のゴールデンウィークの集客施設での入込数は10連休になったこともあり、昨年より大きく伸ばし、外国人客の姿も例年以上に増えている感じがした。また今月末には駅前で開催された市主催のイベントは今年も商店街の朝市イベントとの連携を図り、より一層の集客効果を高め、出店業者全体の売上も飛躍的に伸ばした。
	旅館	初めての10連休で注目されていたが、早くから満室になっていた施設が多かったようである。その中でも価格操作次第で売上げにかなり差が出ていた。天候にも恵まれたため、各地とも連日の満館で人手不足が今後の課題となった10日間だった。その後は想定していた以上に谷間が長く、6月迄も影響が出そうで、5月全体の営業実績は昨年並みであった。
	測量	組合員の業況、公的発注も少なく下請けに回っている。
	警備	先月27日から今月6日までは天皇の退位即位行事があり、毎年のゴールデンウィークとは違い、国民のほとんどが10連休となったため、稼働日が少なく売上高が減少となった。
建設業	総合工事業	公共建設工事発注状況：前年同月比率約50%減。4/1から5/31前年同期比率約25%減。国の大型補正の発注が終了したこと、今年度予算による発注が始まっていないことによると考えられる。6月以降の今年度予算にて発注に注視する必要がある。
	内装工事業	5月は連休の影響もあり、対前年同月比で売上等が減少となってしまった。今後、消費税増税等の要因がからんで景況は様子見の展開が予想される。
	水道工事業(亀山)	若手人材不足(技術者、技能者)
運輸業	トラック	燃料価格の上昇が収益を圧迫。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	総会は終わり、組合数が減少した。総会資料等の作成にご指導をお願いしたい。
サービス業	旅館	改正入管法が4月1日より施行され外国人労働者の雇用について新たな制度として動き出しているが、採用システムについて詳細かつ明確にしたい。
	測量	経費を節約し、細く運営するのみ。
一般機器	四日市	我が国は対外貿易の優劣により、良くも悪くもなる。外交はアメリカだけでなく近隣諸国とも友好的な条件設定を望む。
運輸業	トラック	働き方改革の実現に向け、荷主各社への一層の周知を求む。